

社会系教科教育学会 第31回研究発表大会

大会テーマ：AI時代に向けた社会系教科の展望

プログラム



2020年2月22日（土）・23日（日）

会場：岡山理科大学



2020年1月20日

会員各位

社会系教科教育学会会長 關 浩和
研究発表大会実行委員長 桑原敏典

2019年度

社会系教科教育学会 第31回研究発表大会（第二次案内）

大寒の候、皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、2019年度 社会系教科教育学会 第31回研究発表大会を下記の要項で開催することとなりました。会員の皆様方はもとより、会員以外の方々にも広くお呼びかけいただきまして、多数ご参加くださいますよう、ご案内かたがたお願い申し上げます。

記

1 日程 2020年2月22日（土）・23日（日）

第1日（2月22日）

9:00	9:30	12:00	13:30	17:00	17:45	
受付	自由研究発表 I	理事会 昼食	シンポジウム	総会	情報 交換会	18:00 19:30

第2日（2月23日）

9:00	9:30	12:00	13:00	16:30
受付	自由研究発表 II	昼食	課題研究発表 課題研究 I・II	

2 場所 岡山理科大学 岡山キャンパス（〒700-0005 岡山市北区理大町 1-1）

3 主催  社会系教科教育学会

4 後援 岡山県教育委員会（申請中） 岡山市教育委員会（申請中）
国立大学法人兵庫教育大学 兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会
加東市教育委員会

5 参加費 3,500円（事前振込の場合は、3,000円）、情報交換会 5,000円（A1号館11階ラウンジ）

6 受付 第1日目、2日目ともに9時よりA1号館1階のホールにて行います。

7 昼食

第1日目, 2日目ともにA1号館地下1階の学生食堂がご利用いただけます。
学内にはコンビニもございます。

8 会場施設

PC及び変換アダプター, その他の機器は, 各自でご持参ください。

※ VGAにつきましてはケーブルが設置してありますが, HDMIにつきましては, ケーブル
がございませんので, 使用される場合は各自でご用意ください。

9 宿泊

宿泊につきましては, 各自での手配をお願いいたします。

10 大会情報

大会に関する情報は, 大会特設サイトをご覧ください。 <http://essdra.fan-site.net/>

11 問い合わせ先

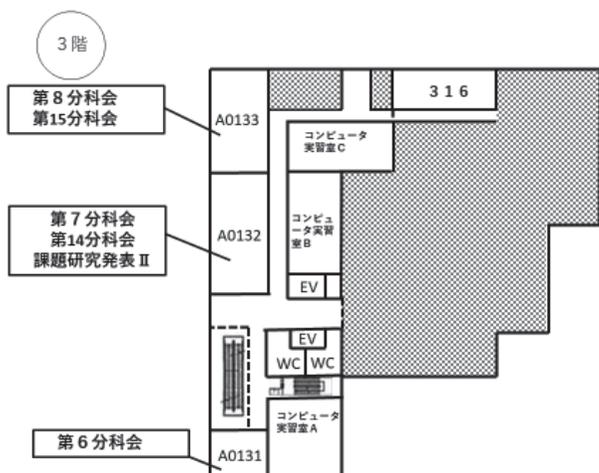
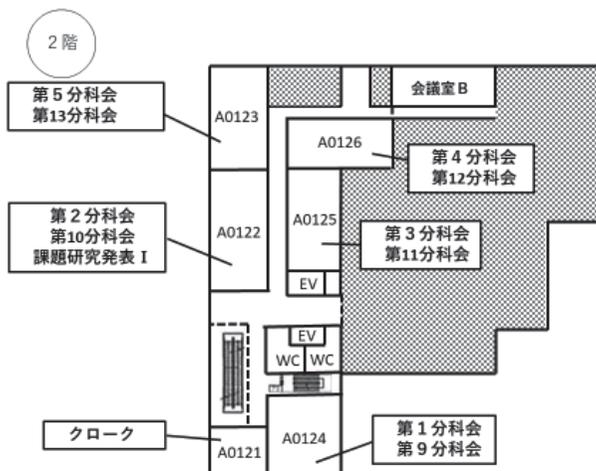
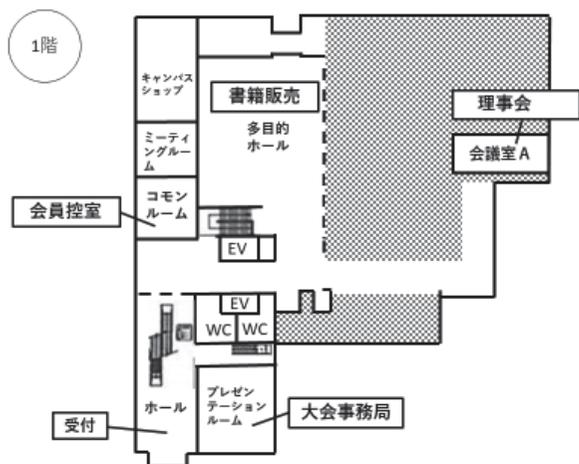
〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1 岡山大学大学院教育学研究科
研究発表大会実行委員会事務局 山田秀和

TEL : 086-251-7624

E-mail : hiyamada@okayama-u.ac.jp

会場案内

□□□ 各会場案内図 □□□



第1日：2月22日(土)	
自由研究発表 I：9:30～12:00	
第1分科会	A0124 教室
第2分科会	A0122 教室
第3分科会	A0125 教室
第4分科会	A0126 教室
第5分科会	A0123 教室
第6分科会	A0131 教室
第7分科会	A0132 教室
第8分科会	A0133 教室
理事会：12:00～13:30 会議室A (A1号館1階)	
シンポジウム：13:30～17:00 理大ホール (C1号館8階)	
総会：17:00～17:45 理大ホール (C1号館8階)	
情報交流会：18:00～19:30 ラウンジ (A1号館11階)	

第2日：2月23日(日)	
自由研究発表 II：9:30～12:00	
第9分科会	A0124 教室
第10分科会	A0122 教室
第11分科会	A0125 教室
第12分科会	A0126 教室
第13分科会	A0123 教室
第14分科会	A0132 教室
第15分科会	A0133 教室
課題研究発表：13:00～16:30	
課題研究 I	A0122 教室
課題研究 II	A0132 教室

会員控室 コモンルーム
 ※湯茶を用意しております。休憩や昼食
 にご利用ください。
クローク A0121 教室
書籍販売 多目的ホール
学生食堂 A1号館地下1階

第1日：2月22日（土）

自由研究発表Ⅰ：9：30～12：00（各発表20分・質疑10分）

【第1分科会】A0124

司会 梅津正美（鳴門教育大学）

- (1) 個人の自由を基調とした憲法学習の構想
－取調べの可視化をめぐる論争の教材化を事例として－
山岸佳意（岡山大学・院生）
- (2) 中学校社会科公民的分野と高等学校公民科新科目「公共」の繋がりについての一考察
－「幸福」と「正義」の価値判断とそれを繋ぐ「公正」について、コールバーグの発達理論を手掛かりにして－
有山明利（京都府宇治市立北宇治中学校）
- (3) 高等学校公民科新科目「公共」の望むべきあり方についての一考察
－幸福と正義を繋ぐ公正のキー概念として－
有山明利（京都府宇治市立北宇治中学校）
- (4) 見えない力を読み解く「公共」の授業構想
－死への介入を手がかりとして－
石原 純（京都女子大学）
- (5) 公共的な諸課題の解決を目指した市民性教育に関する一考察
－兵庫県西宮市の環境学習を事例として－
本多千明（武庫川女子大学）

【第2分科会】A0122

司会 中本和彦（龍谷大学）

- (1) 地理的分野における地域的特色を学習する意味に関する一考察
－「世界の諸地域－ヨーロッパ州－」の授業を事例に－
渡邊直人（宮崎大学・院生）
- (2) 中学校社会科地理的分野における単元「地域の在り方」の授業開発
－復興まちづくり学習で地域を構想する－
松岡茉奈（兵庫教育大学・院生）
- (3) 継続的な作問活動は生徒の学習評価観の構築にどのように影響するのか
－高等学校地理の場合－
○宅島大堯（広島大学・院生）・○山口裕平（長崎県立島原高等学校）
- (4) 未来社会につながる教科 社会科地理的分野の授業のあり方
－「知る」「わかる」授業から「考える」授業を展開する単元設計の工夫－
藤原正治（愛媛県新居浜市立北中学校）

【第3分科会】A0125

司会 二井正浩 (国立教育政策研究所)

- (1) 地政学的な見方・考え方を働かせ多面的な解釈形成を目指す歴史学習
－中学校社会科歴史的分野 織豊政権の場合－
龍瀧治宏 (富山大学人間発達科学部附属中学校)
- (2) 歴史教育における批判的リテラシーの育成
－高校日本史単元「戦争体験の語りを吟味する」の開発と実践を通して－
牧野和也 (兵庫教育大学・院生)
- (3) 歴史的思考力育成のための言語活動を取り入れた高等学校日本史単元開発研究
橋本憲人 (岡山大学・院生)
- (4) メルヘン／ファンタジーを用いた高校世界史の授業内容開発
－「サンタクロース」を題材として－
堤 敏浩 (佐賀県立佐賀北高等学校通信制)
- (5) 「民主政治の見方・考え方」の成長をめざす日本史単元開発
－高等学校地理歴史科「歴史総合」単元「政党政治の挫折」－
○角田将士 (立命館大学)・○清水智貴 (広島県立三原高等学校)

【第4分科会】A0126

司会 吉田正生 (文教大学)

- (1) 多文化化する社会における主体的価値判断力の育成
－中学校社会科公民的分野小単元「わたしたちのまちに外国人がやってくたら～共生する社会のあり方を構想する～」の場合－
門出有芳葉 (鳴門教育大学・院生)
- (2) 中学校社会科における価値認識を形成する授業の改善について
○内海照幸 (多治見市立北陵中学校)・○松原元樹 (中津川市立坂本中学校)
○金森壮志 (美濃加茂市立西中学校)
- (3) 労働問題に着目した中学校公民的分野の授業開発④
－AI時代の働き方の手がかりをさぐる－
奥田修一郎 (大阪教育大学)
- (4) 学びに向かう力の育成と評価に関する研究
－中学校社会科公民的分野「私たちと政治」単元を事例として－
岩野清美 (和歌山大学)
- (5) 子どもたちの社会的な見方・考え方は育てることができるのか
－小学校6年生における「効率的で公正なルールづくり」の実践を事例として－
岩野清美 (和歌山大学)

【第5分科会】A0123

司会 服部一秀 (山梨大学)

- (1) 海洋に着目した世界史カリキュラムの意義と特質
－R. Dunn のカリキュラムに着目して－
○星 瑞希 (東京大学・院生)・秋田喜代美 (東京大学)
- (2) 中等ヴァージニアプランにおけるコアコースと社会科との関わり
－大衆化する中等教育カリキュラムにおける必修課程の位置付けに注目して－
齊藤仁一郎 (東海大学)
- (3) 内モンゴル自治区の民族教育とアイデンティティの形成
－内モンゴルの民族小学校とモンゴル国の小学校における社会系教育の比較を中心に－
WUREN TUYA (兵庫教育大学・院生)
- (4) オーストリアの政治教育から考える主権者教育のオルタナティブ (1)
－歴史・公民教育をどのように実践しているか－
○川口広美 (広島大学)・○草原和博 (広島大学)
- (5) オーストリアの政治教育から考える主権者教育のオルタナティブ (2)
－政治的中立性はどのように理解されているか－
○金 鍾成 (広島大学)・○渡邊 巧 (広島大学)

【第6分科会】A0131

司会 福田喜彦 (兵庫教育大学)

- (1) ICCS2016 の調査結果とそれが日本の市民性教育に示唆するもの
－civic engagement に注目して－
小栗優貴 (広島大学・院生)
- (2) 市民性の育成を志向する小学校社会科カリキュラム開発
－ICCS 調査要素を反映した長期における教育実践を通して－
山方貴順 (奈良市立都跡小学校, 大阪教育大学・院生)
- (3) 慣例的学習方法を OODA ループ理論に当てはめた汎用的社会科授業展開スタイル
－授業者と学習者が自ら動く, 4つの目に見える化した板書と併せる－
大西 洋 (静岡市立安東小学校, 愛知教育大学・静岡大学・院生)
- (4) 抽象概念の形成を意図した社会科教科カリキュラムの開発, 実践とその評価
－農業と水産業における「ブランド化」に着目して－
菅原雅史 (兵庫教育大学・院生)

【第7分科会】A0132

司会 岡崎 均 (大阪体育大学)

- (1) アナロジー思考の理論に基づく小学校社会科地域学習の開発
ー第3学年単元「伊丹の酒造り」の場合ー
後藤義揮 (兵庫教育大学・院生)
- (2) 自然の不思議を感じとる種の授業
ー親子自然教室から生活科へー
中野照雄 (社会系教科教育学会会員・元教員)
- (3) 心情曲線を活用した小学校歴史学習
ー第6学年「武士の世の中へ 元の大軍がせめてきた」ー
河野富男 (香川県宇多津町立宇多津小学校)
- (4) Society5.0時代に求められる小学校社会科産業学習のカリキュラム開発
ーシステム・デザイン思考モデルを手がかりにしてー
森 清成 (兵庫教育大学附属小学校, 兵庫教育大学・院生)
- (5) アクション・リサーチによる小学校社会科授業の開発研究 (IV)
ー日本の伝統文化を視点にした第3学年単元「長田神社の追儺式」の場合ー
○關 浩和 (兵庫教育大学)・○小林千賀美 (兵庫教育大学・院生)

【第8分科会】A0133

司会 藤原孝章 (同志社女子大学)

- (1) 社会科における自律的な学習意欲についての研究
ー山梨県の高校生に対するアンケート調査の結果からー
史 鵬宇 (山梨大学・院生)
- (2) 小学校主権者教育における潜在連想テストを用いた女性観の抽出
ー価値判断の授業を用いた県別比較ー
秋田 真 (松本大学)
- (3) 「戦争体験」を活用した平和形成主体育成のための「方法としての平和教育」の構築にむけて
○佐藤宏之 (鹿児島大学)・○田口紘子 (鹿児島大学)・○杉原 薫 (鹿児島大学)
○新名隆志 (鹿児島大学)・○城野一憲 (鹿児島大学)
- (4) 主権者教育におけるワークルール教育の実践とその課題
○岩本清澄 (福井大学・院生)・○小山啓貴 (福井大学・院生)
○寺松 優 (福井大学・院生)・○牧田航祐 (福井大学・院生)
湯場穂乃佳 (福井大学・院生)・○橋本康弘 (福井大学)
- (5) 生徒はどのような考え方を重視して法的判断を行うのか
ーヘイトスピーチに関する3校での授業実践を通してー
橋本康弘 (福井大学)

理事会 12:00～13:30 会議室 A (A1 号館 1 階)

昼食 12:00～13:30

シンポジウム : 13:30～17:00 理大ホール (C1 号館 8 階)

AI 時代に向けた社会系教科の展望

司 会 小川正人 (環太平洋大学)
桑原敏典 (岡山大学)
指定討論者 關 浩和 (兵庫教育大学)
溝口和宏 (鹿児島大学)

AI の進化と浸透によって、世の中が大きく変化することが予想される。便利で新しいサービスを生み出すなど、AI の活用は大きな可能性を持っている。その一方で、今後、多くの仕事が AI に取って代わられるなどの予測も見られる。このような時代の到来を前にして、社会系教科にとって議論しておくべき重要な点は、AI 時代の民主主義社会を担う資質・能力育成のあり方についてである。AI が政策決定に導入されることで、データに基づく「最適解」が導かれるようになる。そのプロセスは人々が議論して決定するよりも早く、そして、合理性の高いものとなりうる。AI 時代の到来は、試行錯誤を前提としている民主主義の根幹をゆさぶるものとなるだろう。社会系教科は AI 時代の到来にどのように向き合えばよいのだろうか。

本大会 (シンポジウム) では、AI 時代に向けた社会系教科の方向性について議論するために、以下のような問いを立てたい。①これからの民主主義社会の形成者に求められる資質・能力とはどのようなものか、②そのような資質・能力を育成する授業はどのようなものか。これらの問いに対する登壇者の提案をもとに、参加者との議論を通して、AI 時代に向けた社会系教科の可能性を探りたい。

課題研究においては、シンポジウムの議論を引き継ぎ、AI 時代に向けた社会系教科の授業づくりの視点と方法について、発表者の立場からそれぞれの具体像を探りたい。

- (1) 社会科教育における資質・能力の実存論的検討
—AI 時代に向けた学びの可能性—

田本正一 (山口大学)

- (2) AI 時代に向けた中等社会系教科の学習

土肥大次郎 (長崎大学)

- (3) AI 時代に向けた市民的資質育成の再定位

長田健一 (就実大学)

総会 17:00～17:45 理大ホール (C1 号館 8 階)

情報交換会 18:00～19:30 A1 号館 11 階ラウンジ

第2日 2月23日(日)

自由研究発表Ⅱ：9：30～12：00（各発表20分・質疑10分）

【第9分科会】A0124

司会 草原和博（広島大学）

- (1) 「歴史的思考」の育成を目指した歴史単元の開発方法
ーカナダ Historical Thinking Project に注目してー
 - 玉井慎也（広島大学・院生）・○高松尚平（広島大学・院生）
 - 渡邊竜平（広島大学・院生）・川口広美（広島大学）

- (2) 現代社会を歴史的に考えるための歴史的思考概念
 - 星 瑞希（東京大学・院生）・○小野創太（東京学芸大学・院生）
 - 渡邊和彦（筑波大学・院生）・松村一太郎（東京大学・院生）

- (3) 「歴史を学ぶ意味」を生徒はどのようにとらえているのか
ー中高一貫教育校の日本史履修者へのインタビューを通じてー
須郷一史（千代田区立九段中等教育学校）

- (4) 小学校社会科におけるメタ・パブリックヒストリーのスタート学習
ードイツの事例を手がかりにしてー
服部一秀（山梨大学）

- (5) 社会に開かれた歴史教育はどうありうるか
ードイツでの歴史授業観察からー
服部一秀（山梨大学）

【第10分科会】A0122

司会 石川照子（兵庫県立西宮香風高等学校）

- (1) 「昭和史を大観する」教材の研究
ー『ゴジラ映画』の変遷を手がかりにー
青木章浩（島田市立島田第二中学校）

- (2) 歴史的な見方・考え方を育成する中学校歴史大観学習の授業開発
ー歴史家の現代社会論に注目してー
中山俊輔（熊本大学・院生）

- (3) 歴史学習における意味の構築に向けた「語り口」の意識化
ー小単元「演出された歴史」と多様な子どもの歴史理解ー
中山智貴（愛知教育大学・院生）

- (4) 世界史と日本史の融合を意図した高等学校「歴史総合」の授業分析
ーグローバルヒストリーの視点に立つ先行実践に着目してー
杉山正人（兵庫教育大学・院生）

【第 11 分科会】 A0125

司会 吉水裕也 (兵庫教育大学)

- (1) 観光を考察の中核とした「日本の諸地域」の指導計画
ー近畿地方を事例としてー
柳澤彰紀 (京都府教育委員会)
- (2) 自然災害への備えを選択・判断する力を育成する小学校社会科授業の開発
ー防災ゲーム「クロスロード」の自校化をとおしてー
○恒吉泰行 (西宮市立高木北小学校)・曾川剛志 (西宮市立夙川小学校)
- (3) 防災理論を取り入れた歴史学習の提案
ー「稲むらの火」を題材にしてー
伊藤佳子 (兵庫教育大学・院生)
- (4) 小学校第4学年「住みよいくらし」と「災害」を統合した単元構想
ーライフラインとしての「電気」を鍵として持続可能な社会の形成者を育てるー
坂井冨耶佳 (香川大学・院生)
- (5) 社会科が担う防災・減災教育の在り方
ー小学校第5学年単元「水害から考える防災」の設計を通してー
○紙田路子 (岡山理科大学)・○角田正和 (倉敷市立連島南中学校)
○神山大樹 (倉敷市立玉島西中学校)

【第 12 分科会】 A0126

司会 吉村功太郎 (宮崎大学)

- (1) 持続可能な食料の生産と消費を視点とした小学校社会科の授業構成
ー第5学年の単元「meiji 維新! ? ~牛乳から観るくらし~」を事例としてー
大野木俊文 (広島大学・院生)
- (2) 地域連携を重視した食育プログラムの開発研究
山田真珠 (岡山大学・院生)
- (3) グローバルな視点で政策を評価させる人権問題学習の開発研究
ー中学校社会科公民的分野「ヘイトスピーチ解消法を許せるか」の場合ー
横川和成 (西脇市立西脇中学校)
- (4) NIESDに基づく水育カリキュラムの構想
伊藤裕康 (香川大学)
- (5) グローバルシティズンシップをストランドとした授業実践研究
ー上尾市立東中学校の場合ー
○藤原孝章 (同志社女子大学)・松倉紗野香 (上智大学・院生)
森茂岳雄 (中央大学)

【第13分科会】A0123

司会 馬野範雄（関西福祉科学大学）

- (1) 議員の立場で行う政策決定学習
－小学校第6学年「わたしたちの願いと政治のはたらき」を事例として－
長川智彦（姫路市立南大津小学校）
- (2) 小学校における「考える」過程の展開を意図した社会科教科書モデルの開発
－小学校産業学習「水産業」の教科書分析をとおして－
○長川智彦（姫路市立南大津小学校）・植田真夕子（弥富市立日の出小学校）
松浪軌道（西宮市立名塩小学校）・米田 豊（兵庫教育大学）
- (3) 「科学の技術化」に焦点化した小学校社会科歴史学習の開発
－単元「科学・技術と私たち」を事例として－
吉川修史（広島大学・院生，加東市立社小学校）
- (4) 小学校政治学習におけるコンピテンシー育成のための方策
菊池八穂子（名古屋学院大学）
- (5) 人口減少時代に適合した小学校社会科上下水道事業の教育内容開発
－第4学年単元「人々の健康や生活環境を支える事業」を事例として－
松井克行（西九州大学）

【第14分科会】A0132

司会 峯 明秀（大阪教育大学）

- (1) 教員養成課程における「日本国憲法」の授業開発に関する一考察
－「仮説思考」を組み込んだ憲法学習の成果と課題について－
井上敏孝（常磐会学園大学）
- (2) 社会系教員志望学生の力量向上を目指す大学と実習校の協力体制構築のデザインベースド・リサーチ
－大学講義での単元デザインと実習校での再デザイン・実践を事例に－
○金 鍾成（広島大学）・○栗谷好子（広島大学附属中・高等学校）
- (3) 授業検討会を通じた学生の「多様性」概念の変容
－鳴門教育大学と光州教育大学の国際交流を通して－
○井上奈穂（鳴門教育大学）・李 貞姫（光州教育大学）
- (4) 小学校教師が有する社会科授業観の変遷
大西慎也（京都ノートルダム女子大学）
- (5) 学習者を主体とした教育課程と授業実践における社会認識の形成
－エコール・フレネの場合－
峯岸由治（関西学院大学）

- (1) 学習科学における「ドライビングクエスト」に着目した小学校社会科の授業開発
ー 単元第 5 学年「おいしいの！？神戸ビーフ」をもとにしてー
松岡優輝（兵庫教育大学・院生）
- (2) 主権者教育を視野に入れた公共財ゲーム
～『雪かきゲーム』の教材開発～
行壽浩司（福井県美浜町立美浜中学校）
- (3) 主要国のイメージを掴む，G20 カードゲームの開発・実践
上嶋智江（兵庫県立飾磨工業高等学校）
- (4) 「予測不可能な未来」にアプローチする小学校社会科の授業開発研究
ー 希望の未来像を描くシナリオ作成に着目してー
○ 澁谷友和（東大阪市立花園北小学校）・○ 杉山雄大（東大阪市立玉美小学校）
- (5) 社会科授業におけるパターン・ランゲージの可能性
○ 鬼塚 拓（宮崎大学教育学部附属中学校）・○ 藤本将人（宮崎大学）

AI 時代に向けた初等社会科の授業づくり

コーディネーター 松岡 靖 (京都女子大学)
指定討論者 吉田正生 (文教大学)

課題研究 I では、AI 時代に向けた①これからの民主主義社会の形成者に求められる資質・能力とはどのようなものか、②そのような資質・能力を育成する授業はどのようなものか、というシンポジウム提案に基づき、より具体的な、AI 時代に向けた小学校社会科授業づくりの可能性について議論する。

発表者には、AI 時代 (Society5.0 も含む) に向けて小学校段階では、どのような資質・能力を育むべきか、また、どのような視点に基づき教材開発・授業開発をするべきか、について具体的な開発事例をもとに提案していただく。そして、相互の共通点・相違点について検討した上で、これまでの社会科授業と何が違い、何が変わらないのかを話し合いたい。発表者、指定討論者、フロアー参加者とともに、AI 時代に向けた小学校社会科授業づくりの方向性について議論を深めたいと考えている。

(1) 低学年における論争問題学習の意義

岩坂尚史 (お茶の水女子大学附属小学校)

(2) Society5.0 時代に必要な資質・能力と小学校社会科授業づくり

ーシステム・デザイン思考モデルを手がかりにー

森 清成 (兵庫教育大学附属小学校)

(3) 高度情報社会の在り方を考察し市民としての関わり方を判断する小学校社会科授業

神野幸隆 (広島大学附属三原小学校)

AI 時代に向けた中等社会系教科の授業づくり

コーディネーター 井上昌善 (愛媛大学)
指定討論者 中原朋生 (環太平洋大学)
渡部竜也 (東京学芸大学)

課題研究Ⅱでは、シンポジウム「AI時代に向けた社会系教科の展望」の提案を踏まえ、より具体的な中等社会系教科の授業づくりの可能性について議論する。学校現場の教師が想定している「AI時代の社会」に対する考え方は学校種などによって異なっており、教科の目標となる資質・能力に対する捉え方も多様であると考えられる。

このことから中学校や高等学校を主な授業実践のフィールドとする発表者には、①社会系教科を通して育成を目指す資質・能力をどのように捉えているのか、②それを育成するためにはどのような教材開発や授業開発を行っていけばいいのかという点を中心に、具体的な授業事例に基づき発表していただく。そして、相互の共通点・相違点について検討した上で、これからのAI時代に向けた中等社会系教科の授業の在り方について、発表者、指定討論者とフロアー参加者との議論を通して、議論を深めたいと考えている。

(1) Agency の育成を目指す社会科授業開発研究

－中学校社会科地理的分野小単元「三津浜安全プロジェクト」を事例として－

井上昌善 (愛媛大学)

(2) 「学習のための評価」を軸とした中学校社会科カリキュラムデザイン

－「共創」をキー概念とするカリキュラムマネジメントのなかで－

岩淵公輔 (府中市立府中第四中学校)

(3) 地域課題を問いなおす授業の実践－GISの活用を通して－

河合豊明 (品川女子学院)

岡山理科大学キャンパス



●大学までの路線バス (※土日祝ダイヤ) 平日はダイヤが異なります。

《ゆき》岡山駅西口②→岡山理科大学

岡山駅西口②	理科大 着	岡山駅西口②	理科大 着
7:20	7:40	9:45	10:05
7:40	8:00	10:10	10:30
8:00	8:20	10:32	10:52
8:20	8:40	11:00	11:20
8:40	9:00	11:24	11:44
9:00	9:20	11:50	12:10
9:20	9:40	12:15	12:35

《かえり》岡山理科大学→岡山駅西口②

理科大 発	岡山駅西口②	理科大 発	岡山駅西口②
14:00	14:18	16:55	17:13
14:25	14:43	17:20	17:40
14:50	15:08	17:45	18:05
15:15	15:33	18:30	18:50
15:40	15:58	19:15	19:33
16:05	16:23	20:00	20:18
16:30	16:48		